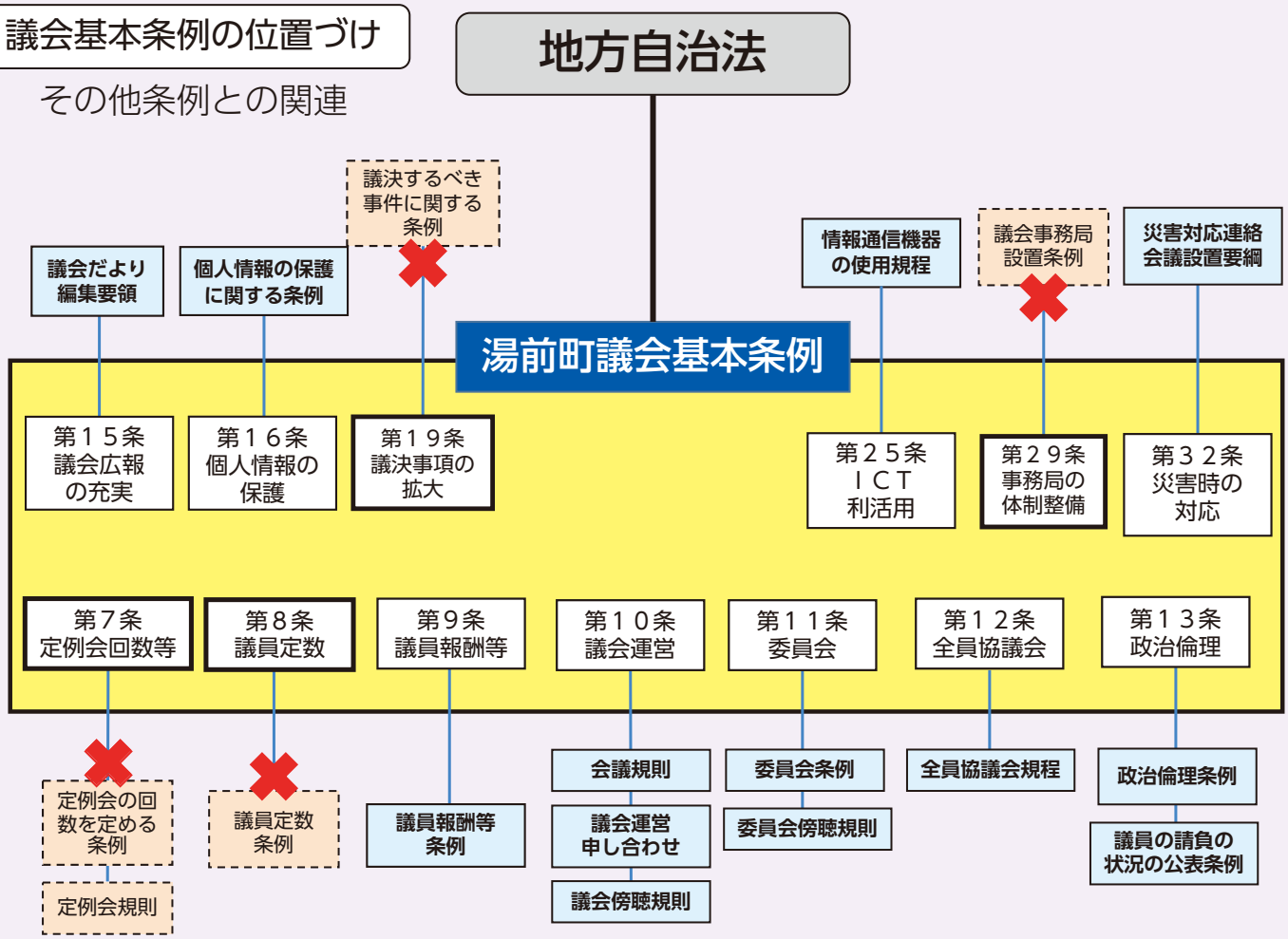
ゆのまえ議会だより

No.48
令和6年
11月1日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

議会基本条例の位置づけ

その他条例との関連



P2 特集１　議会基本条例を制定
P3 特集２　選挙公報を廃止
P4 本会議　物価高騰対策などの国支援
P9 一般質問　４人が執行部の考えを質す
P14 議員派遣　国道２１９号整備の要望活動
P16 委員会　令和２年７月豪雨災害からの復旧道半ば
P18 議会の窓　任期を振り返って
P19 一部事務組合　新ごみ処理施設の先進地視察
P20 選挙啓発　湯前町議会議員選挙の投開票日は１１月１７日

今号のイラスト

新たに制定した湯前町議会基本条例（基本条例）と既存条例の位置づけを示しています。議会関連の条例などを整理し、分かりやすく体系化しています。
× 印は、既存条例を廃止し基本条例に統合したことを示しています。

特集（２ページ）につづく・・

特集1

議会改革の最終報告

議会基本条例を制定

町民の負託に応え継続的な改革と活性化に努める

第３次の議会改革調査特別委員会において、湯前町議会の最高規範である議会基本条例を制定しました。議会基本条例が「絵にかいた餅」にならないよう、第２４条で継続的に議会の改革に取り組むようにしています。また、第３４条で議会基本条例の施行の状況について議会運営委員会などで検討を加え、必要な措置を講じるようにしています。

［参考］球磨郡で議会基本条例を制定している自治体：錦町、あさぎり町、多良木町

■ 議会改革の経緯

湯前町の議会改革調査特別委員会は、今回で３回目の設置となりました。第３次の委員会では、令和３年６月から令和６年７月までの期間で３１回の調査を行い、１８の検討項目で結果を出しました。

議会運営においては、議員定数や広報常任委員会の設置、常任委員会任期２年制、議員間討議、あいさつ状の禁止などの調査を行いました。また、議会基本条例や選挙公営制度、個人情報保護、会議への通信機器の持ち込み、兼業禁止の緩和など、新たに３つの条例、２つの規則、１つの規定を策定しました。

議会基本条例は、第１次の調査（平成２９年５月）で椎葉村・西米良村への先進地視察研修を行い、第２次の委員会で条例の案を作成しましたが、議員全員の同意が得られず、上程に至りませんでした。

教えて　ゆっくん

議会基本条例って何？

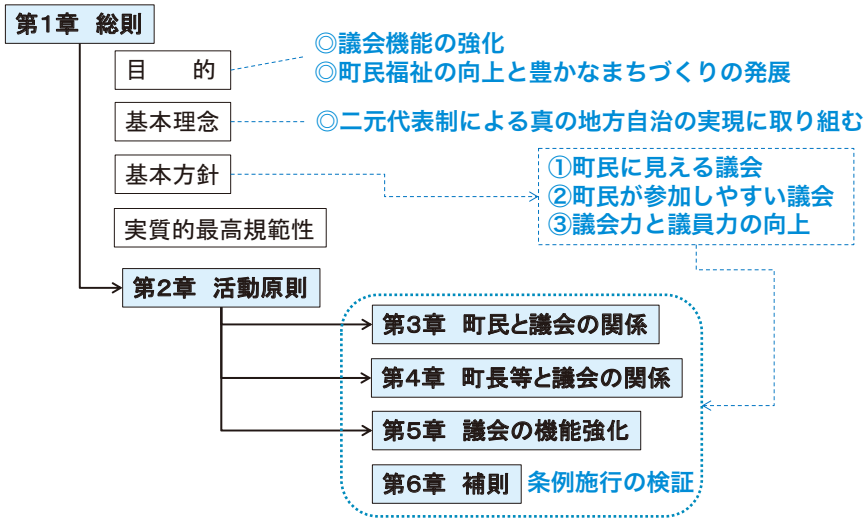
地方自治体の議会の組織や運営の基本的な方針とルールを定める条例だよ。この条例は、議会の透明性や住民との関係を強化し、議会の活性化を図ることを目的としているのだ。

議会基本条例を制定している町村の数と割合

・全　国：３９４町村（４２．５％）
・県　内：　１０町村（３２．３％）
・球磨郡：　　３町村（３３．３％）

※令和５年７月１日現在

湯前町議会基本条例の構成



議会基本条例は、議会ＨＰからご覧いただけます。

※議会基本条例の制定は、７ページ（本会議）を参照。
※議会改革の中間報告は、議会だよりＮｏ．４４（令和５年１１月１日発行）の特集記事を参照。

特集2

選挙公報を廃止

時代に合わせた速やかな対応

■ 発行の経緯

湯前町議会は、平成２８年９月１６日付けで、湯前町議会議長名で「選挙公報発行に関する要望書」を選挙管理委員会へ提出しました。この要望に基づいて委員会で議論が行われ、選挙公報が有権者の政治や選挙への関心を高める有効な手段として、有権者の投票における判断資料になることが確認されました。その結果、選挙公報の発行が決定されました。

その後、「選挙公報の発行に関する条例」を制定し、平成２８年と令和２年の湯前町議会議員一般選挙で選挙公報が発行されました。

当時、県内で「選挙公報発行に関する条例」を制定している町村は、１４町村（４５．２％）ありました。

■ 廃止の経緯

過去２回の選挙公報の発行を、さまざまな視点から検討した結果、議員全員で今後の廃止を確認しました。９月１３日に湯前町議会議長名で「選挙公報の廃止に関する要望書」を選挙管理委員会へ提出し、その後の委員会で廃止が決定されました。これを受けて、９月定例会の最終日に「選挙公報の発行に関する条例」を廃止しました。

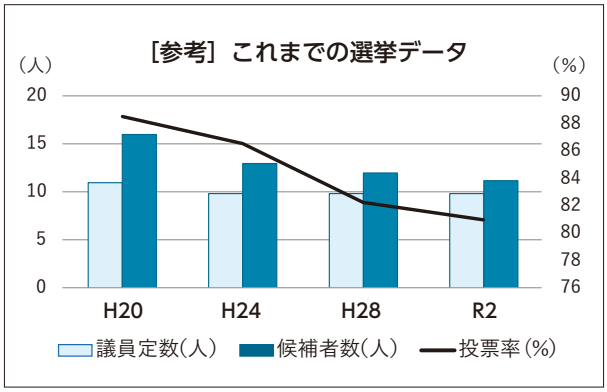
※選挙公報の発行に関する条例の廃止は、７ページ（本会議）を参照。

選挙公報の廃止を要望する理由

①期日前投票が増えた

選挙公報は、配布までに時間を要するため、期日前投票における判断材料になっていません。

前回の選挙(令和２年１１月)で期日前投票をされた方は、１１８４人で４５％を占めました。参考までに、これまでの選挙データを示します。平成２８年と令和２年に選挙公報を発行しましたが、投票率はいずれも減少しています。



②選挙運動用ビラの頒布が可能になった

選挙運動用ビラ(公選ビラ)は、令和２年１１月の選挙では認められていませんでしたが、令和２年１２月の選挙公営に関する公職選挙法の一部を改正する法律の施行に伴い、公選ビラの配布が可能になりました。

教えて　ゆっくん

選挙運動用ビラって何？

公選ビラ、証紙ビラ、法定ビラとも呼ばれ、選挙期間中に候補者が有権者に対して政策や想いをアピールするために配布する文書のことだよ。このビラには、選挙管理委員会から交付される証紙を貼る必要があるのだ。町村議員は１６００枚まで頒布できるよ。

物価高騰対策などの国支援

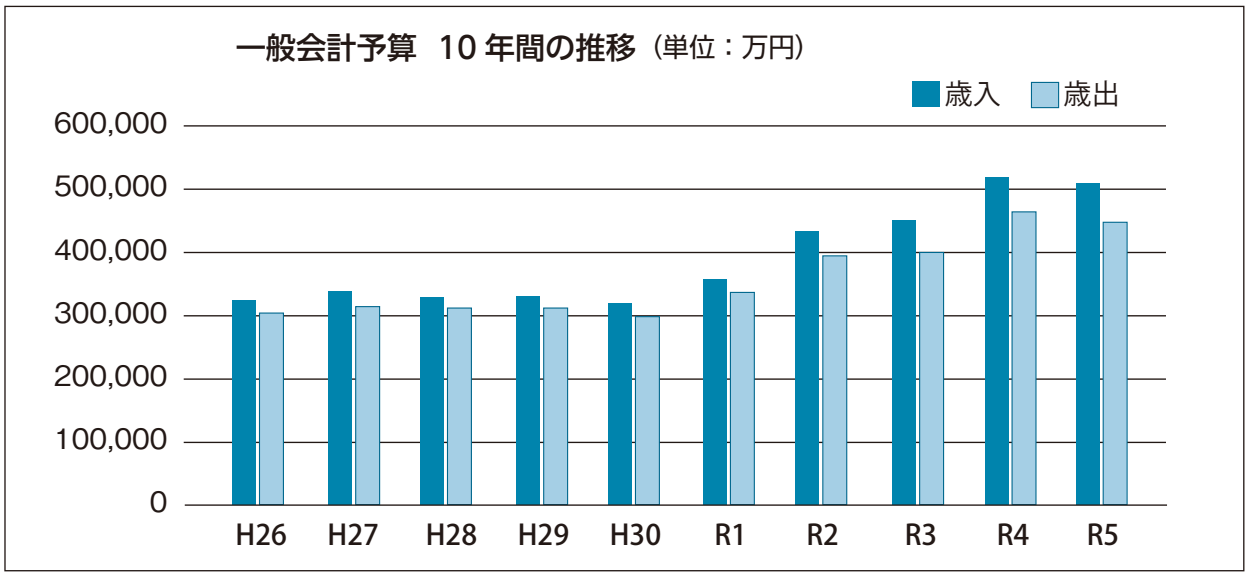
令和５年度は過去２番目の決算額

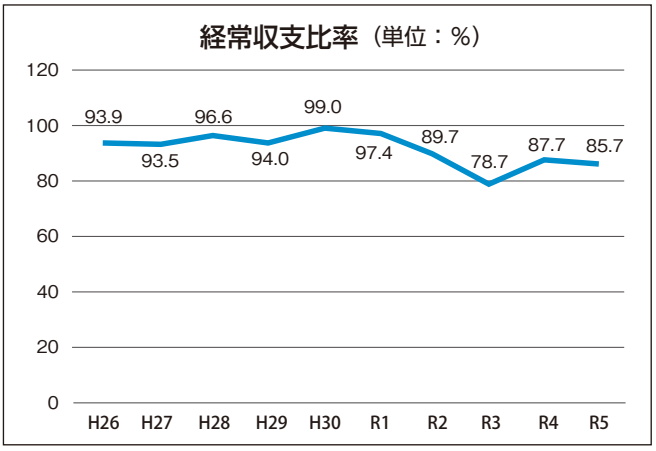
令和５年度決算認定

９月定例会は、９日から18日まで10日間の日程で開かれました。議員４人が一般質問を行い、令和６年度補正予算や条例改正、決算認定などを審議しました。また、７月３日に臨時議会を開いています。

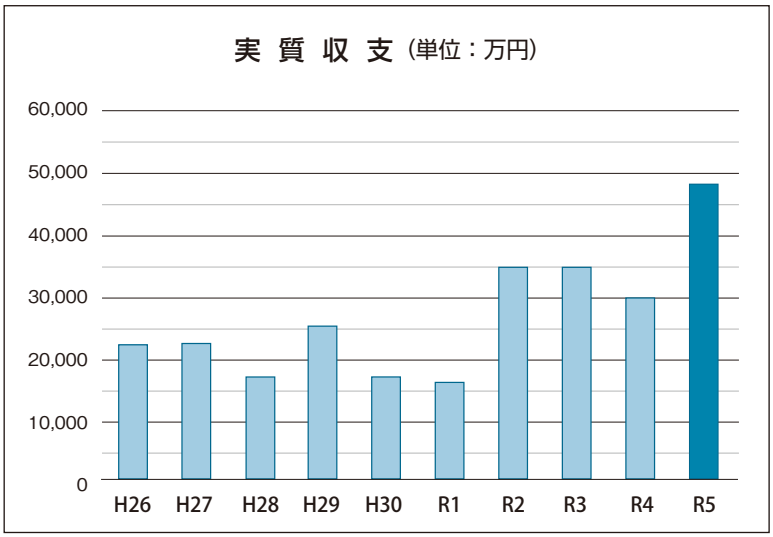
令和５年度の決算は、過去２番目の歳入と歳出になったよ。災害復旧事業や物価高騰対策などに対する普通交付税が多く配分されたこと、ふるさと寄附金を多く頂いたことが、大きな数値となった主な要因なのだ。

財政の弾力性を示す指標が「経常収支比率」なのだ。この比率が高いほど、町が自由に使えるお金が少ないことを意味しているよ。令和５年度は、85・7％で前年度よりも改善しているように見えるけど、これは臨時的な収入の増加が主な要因で、町が自由に使えるお金は依然として厳しい状況にあるのだ。

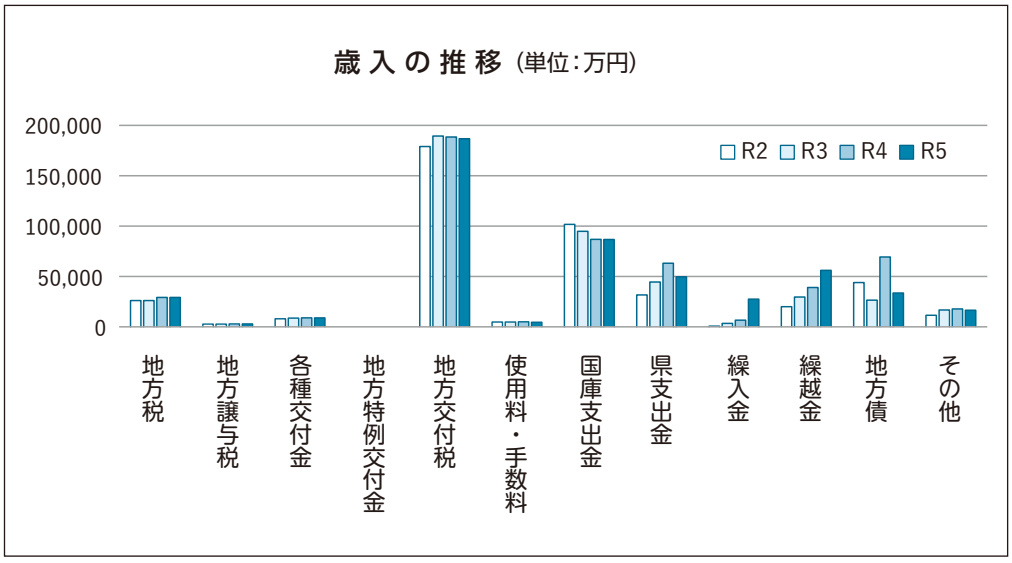


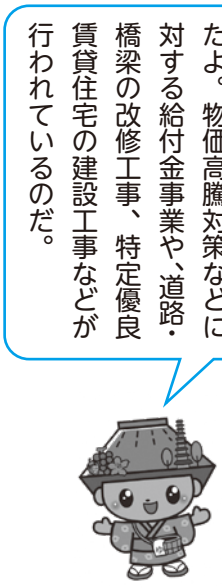


歳入歳出の差引額から翌年度へ繰り越す財源を差し引いた「実質収支」は、4億8223万6352円の黒字決算だったよ。

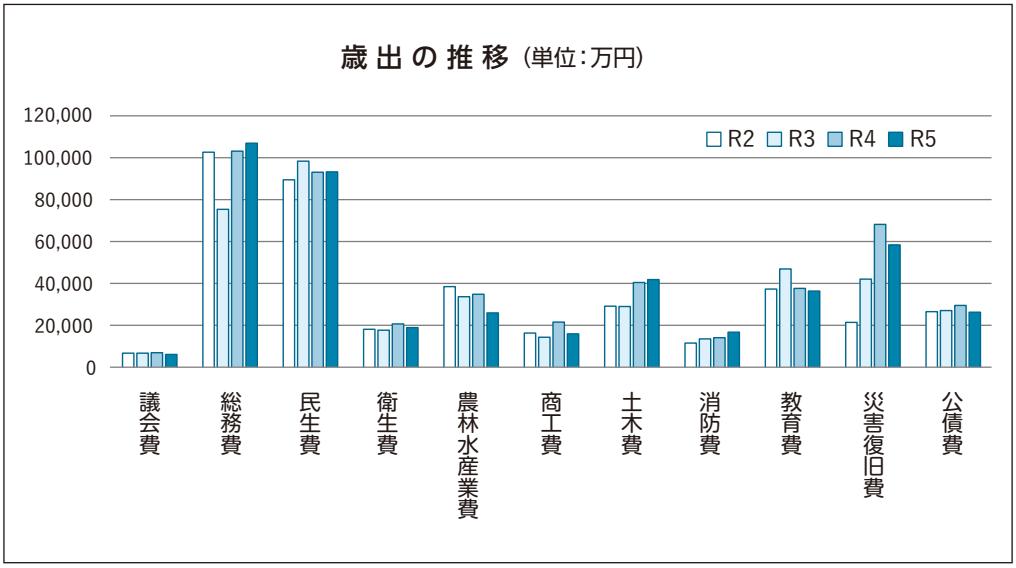


歳入のうち「地方交付税」「国庫支出金」「県支出金」などの依存財源は、歳入全体の8割ほどあるのだ。





総務費と土木費が上昇したよ。物価高騰対策などに対する給付金事業や、道路・橋梁の改修工事、特定優良賃貸住宅の建設工事などが行われているのだ。



補正予算

第2分団第1部の全国大会費用
全国消防ポンプ操法大会 703万8000円

10月12日(土)に開催された第30回全国消防操法大会に係る費用です。会場は、宮城県利府町の宮城県総合運動公園グランディ・21です。

県大会を連覇した第2分団第1部(上下染田)が出場し、団員などの旅費やポンプ車の輸送費などを支出します。

全国大会に挑む団員ら

財源は一般財源を充当していますが、後に国の特別交付税の特殊財政需要分として配分される予定です。

産業力強化に2つの県支援

攻めの園芸緊急生産対策事業補助金 1041万7000円

熊本県が行う「攻めの園芸緊急生産対策事業」において、球磨地域農協湯前葡萄部会から、耐風性ハウス施設の導入に関する申請がありました。

この補助金は、費用の3分の1を県が支援します。

竹たけのこ生産支援事業補助金 125万3000円

熊本県が行う「竹たけのこ生産支援事業」において、湯前町竹材活用協議会から、荒廃した竹林の改善や整備に関する申請がありました。

この補助金は、費用の2分の1を県が支援します。

児童手当を拡充
令和6年10月から 816万円

政府は、児童手当の拡充を今年10月分からとし、支給回数も年3回から6回に変更することを閣議決定しました。これにより、町への支給分が816万円増額されます。

財源は、国・県の児童手当負担金を充当します。

これまで

主な生計者の年収960万以上1200万円未満の場合、児童手当(月額)5千円

主な生計者の年収1200万円以上の場合、児童手当(月額)0円

960万円未満

支援対象	児童手当(月額)	
0歳～3歳未満	1.5万円	第3子以降 1.5万円
3歳～小学生	1万円	
中学生	1万円	

▼

所得制限なし

支援対象	児童手当(月額)	
0歳～3歳未満	1.5万円	第3子以降 3万円 ※多子加算のカウント方法を見直し
3歳～小学生	1万円	
中学生	1万円	
高校生	1万円	

湯前町議会議員の選挙費

選挙運動公費負担金 335万4000円

当初予算では、選挙運動にかかる公費負担金を532万2000円で計上見積もっていましたが、最大の場合を想定して追加で計上します。

選挙区分	選挙運動に係る公費負担の有無			（参考）供託金
	自動車	ポスター	ビラ	
町長	×→○	×→○	×→○	５０万円
議員	×→○	×→○	頒布不可→○	無し→**１５万円**

※議会だより№46（令和6年5月1日発行）の表とQRコードを再掲

公費負担に関する条例（例規集）

キャンプ場周辺を整備

観光施設修繕補助金 500万円

グリーンパレスキャンプ場の周辺で、トイレ4カ所を洋式に改修し、炊飯棟のトイレに外灯を設置する工事を行います。この工事費は、湯楽里に補助金として交付します。財源は、熊本地震復興基金から全額支出します。

教えて　ゆっくん

熊本地震復興基金って何？

平成28年熊本地震の被災者への支援や地域の再生を目的として、熊本県が設置した基金のことだよ。本町では、まんが美術館と中央公民館の改修やキャンプ場のトイレ整備などの事業で活用しているのだ。

条例改正

議会基本条例の制定

議会および議員の活動原則を定めることで、議会機能を強化し、町民福祉の向上と豊かなまちづくりの発展に寄与するため、湯前町議会基本条例を制定しました。この条例は、議会改革調査特別委員会から議案を提出しています。

※議会基本条例の詳細は、「表紙（1ページ）」と「特集1（2ページ）」を参照。

選挙公報の発行に関する条例の廃止

選挙公報は、これまで平成28年と令和2年の2回、町議会議員の選挙において発行してきましたが、今後はこれを廃止することにしました。

※選挙公報の廃止の詳細は、「特集2（3ページ）」を参照。

湯前町議会委員会条例の改正

町の一般事務を幅広く、視点を変えて調査を行うため、委員の任期をこれまでの4年から2年に見直しました。

◎総務厚生文教常任委員会
◎企画経済建設常任委員会
◎広報常任委員会

（これまで）任期４年

変更

任期２年　**任期２年**

その他の議案

工事請負契約の締結

湯前町指定避難所空調整備工事（湯前小学校）

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は9900万円、契約の相手方は「共生電設㈱」です。

町道猪鹿倉横谷線災害復旧工事（第2工区）

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は7568万円、契約の相手方は「㈲ふじもと」です。

指定管理者決まる

湯前町地域産業交流施設

湯前町地域産業交流施設（杵つき精米所）に指定管理者制度を導入することで、農産物の高付加価値化、販路や消費の拡大など、農業振興や所得の向上につなげます。

指定管理の期間は、令和6年10月1日から令和11年3月31日まで、指定管理者は「くまくまアグリ（代表：深水信俊さん）」です。

令和6年度の指定管理料は、6月定例会で議決した75万9000円で、令和7年度から令和10年度においては債務負担行為に基づく600万円を予定しています。

教えて　ゆっくん

債務負担行為って何？

将来に発生する見込みはあるけれど、今年中には支払う予定がない費用のことだよ。地方自治法第214条で規定されているのだ。

議案審議の賛否一覧　［議案23件　認定6件　発委2件（7月～9月）］

議案	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	倉本 豊	山下 力	金子 光喜	審議結果（賛成：反対）
［議案］令和6年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決（9：0）
［認定］令和5年度一般会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決（9：0）
［認定］令和5年度特別会計の決算認定	○	○	○	－※	○	○	○	○	○	－	可決（8：0）
［議案］選挙公報の発行に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決（9：0）
［発委］議会基本条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決（9：0）
［発委］湯前町議会委員会条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決（9：0）
［議案］工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決（9：0）
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決（9：0）

○：賛成　×：反対（今回なし）　－：採決なし（議長は採決に加わりません）

※：特別会計の決算認定は、慣例により副議長が議長を務めます。

４人が執行部の考えを質す

質問者（登壇順）	質　問　項　目	ページ
西　　靖邦	①「子どもを産み、育てたい」と思ってもらえる環境づくり	10
吉田　精二	①道路管理 ②行政区担当職員制度の現状 ③空き家対策	11
椎葉　弘樹	①遊び場の充実 ②道路や駐車場に張り出した樹木などの対応	12
遠坂　道太	①林業の振興 ②河川整備	13

特別企画　前回一般質問

YouTubeアクセスランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。議員のやる気につながりますので、ぜひ動画をご覧ください。

議員	6月一般質問
西　　靖邦	826
山下　　力	246
椎葉　弘樹	223
遠坂　道太	126
森山　　宏	117

（令和６年９月３０日時点のアクセス数）

※生配信を除いたアクセス数

一般質問のYouTubeライブ配信（生放送）を行っています。

一般質問は、ＹｏｕＴｕｂｅで生放送と録画の動画配信を行っています。この動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。

◎YouTube動画（「湯前町オフィシャル」で検索）

前回一般質問のＹｏｕＴｕｂｅサムネイル

問 「子どもを産み、育てたい」と思ってもらえる環境づくり

答 「子どもまんなか湯前」を推進

西　靖邦 議員

質問の様子はこちら

議員　**「結婚し子どもを産み育てたいと思えるまち」のために取り組んでいる事業をバージョンアップする考えはないか。**

課長　安心して子どもを産み育てることができるまちづくりを目指し、現在進行中のさまざまな子育て支援施策に取り組むことで、町を持続的に維持していくための一つの鍵になると考えている。本町には、子育て中の多子世帯が多い。

「結婚し、子どもを産み育てたいと思えるまち」を実現するための施策として、ある程度の成果を上げていると考えている。住民アンケートや意見交換などにより、当事者の視点から、職員では思いつかないような改善点や新しいアイデアが得られることを期待している。

町長　「こどもまんなか熊本」は、誰もが安心して結婚や出産、子育てができ、子どもや若者が輝く熊本を目指すもの。さまざまな立場の個人や組織が、子どもや若者、子育て世帯の視点に立ち、その最善の利益を考えて取り組むことを目指されている。これにより、子どもを産み育てたいという希望が叶い、子どもや若者が尊厳を持ち、自らの力を発揮できる社会の実現を目指している。熊本県ではこの理念に基づき、「こどもまんなか熊本実現計画」を策定中。本町においても、国の子ども大綱と熊本県の計画を踏まえ、第三期湯前町子ども・子育て支援事業計画と一体的に策定し、「こどもまんなか湯前」を推進していきたい。新たな政策は、第三期計画策定の中で、既存施策の検証やニーズ調査をもとに検討を行い、財源も含めて関係部署と協議していきたい。

こども家庭庁の動画はこちら

議員のつぶやき

町民が望む結婚や出産を実現できる子育て世代にとって、魅力的な環境整備が整うことを期待！

問 道路管理

答 経費の負担方法など引き続き検討したい

吉田 精二 議員

議員 道路里親制度の導入について、検討結果はどうだったのか。

課長 町道延長97㎞のうち、町の予算で草刈りなどの管理をしているのが11㎞。残りは住民のボランティアにより維持されている状況。ボランティアでの活動に町としても感謝している。こうした活動に対しては、分館活動への助成や、委託契約などで経費を支給する案などが考えられるが、管理基準の設定や事故対応など制度化を詰めなければならない点も多いので、引き続き検討したい。

教えて ゆっくん

道路里親制度って何？

町道の管理を地元の団体などに任せる（里親に出す）仕組みだよ。町は委託料を支払い、受託者は契約に基づいて年に数回、除草などの作業を行うのだ。地区や沿線の複数人の団体が受託者になることが通例だよ。

質問の様子はこちら

問 行政区担当職員制度の現状

答 少しずつではあるが効果が現れてきている

議員 制度実施によって、職員は行政と地区とのパイプ役を担えているのか。

町長 本制度創設の目的は「職員の見える化」。職員は積極的に地域に出向いて顔を覚えてもらい、地域の実情を把握してもらいたい。悪い部分は改善しながら制度は維持していきたい。

教えて ゆっくん

行政区担当職員って何？

町長が令和３年度から各地区に２～３人ずつ配置している役場職員のことだよ。役場職員の主な仕事は、月２回の広報誌を区長宅に届けること、地区の要望を聞いて担当課に繋ぐこと、地区の行事に積極的に参画すること。つまり地区と行政のパイプ役を担っているのだ。

問 空き家の管理

答 返礼品メニューとしては現実的に厳しい

議員 ふるさと納税の返礼品メニューに空き家の管理を入れることについて検討結果はどうなったのか。

課長 本町にある空き家約200戸のうち、所有者が返礼品として利用される方は少なのではないか。また、本町では受託者（管理を行う事業所）が限られているため、現実的に厳しいと考える。

議員のつぶやき

一般質問で「検討する」と答弁されたことは、経過や結果を報告してもらいたい。

椎葉 弘樹 議員

問 遊び場の充実

答 暑さ対策も含めできる限りの対応をしたい

議員 **町内の遊び場をさらに充実させて、多くの人が集まる町を目指す考えはないか。**

町長 施設の整備や有効利用には引き続き支援を行い、遊具などの充実を図りたい。

暑さ対策は、遊び場の管理者として大変懸念している。施設管理者と協議しながら対応したい。

遊び場をさらに充実できないか、指定管理者などと話し合いを行い、来年度の施政方針でお示しするなど、できる限りの対応を行いたい。

質問の様子はこちら

地域おこし協力隊や指定管理者などによる遊び場づくり（個人調査の抜粋）

問 道路や駐車場に張り出した樹木などの対応

答 通行の妨げになる箇所を適切に対処したい

議員 **車道や駐車場に張り出した樹木などに適切な措置を講じる考えはないか。**

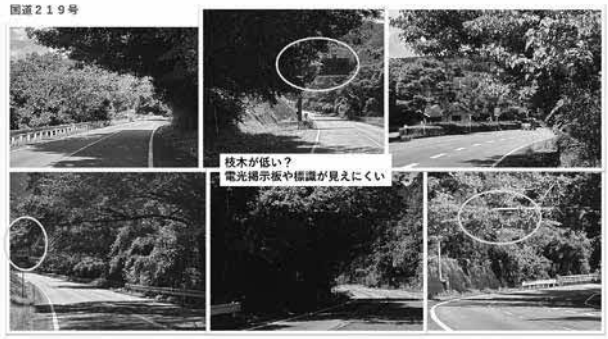
課長 国道219号は、樹木の枝が道路に張り出した箇所がある。町道向田上辻線、浜川中猪線も同様であり、通行の妨げになる可能性がある。

町長 国道の樹木は、球磨地域振興局に早期の対応をお願いしたい。町道は、令和5年4月の民法改正で町が越境した枝を切れるようになったが、費用は所有者の負担となるため、運用は慎重に検討すべき。まずは、民法改正の内容や樹木の通報窓口（建設水道課）を旬報などでお知らせしたい。

議員 **歩道にある街路樹は、伐採も視野に入れて整備する考えはないか。**

課長 町道東方線は、平成7年度から5ヵ年計画で整備している。街路樹は、枝葉の剪定など適正な維持管理が必要であり、これを放置した場合、通行する車両や歩行者への支障が考えられる。

町長 シニアカーや車椅子の利用者、通学生などに支障がある部分は、道路管理者（町）でしっかり管理したい。街路樹の伐採は、地元区長などに話を聞いて慎重に判断したい。



車両や歩行者の通行の妨げになりそうな箇所（個人調査の抜粋）

2路線における街路樹の状況

路線	H7年度〜	R6年度	
	当時の植樹数	現在の植樹数	すでに無い箇所数
県道錦湯前線 ※1	31	4	**27**
町道東方線 ※2	124	60	**64**
合計	**155**	**64**	**91**

※1：時の公園から旧クロネコヤマトまでの区間
※2：上村区にある簡易郵便局付近から多良木の町境までの区間

議員のつぶやき

遊び場づくりや利用しやすい道路の環境整備を、さらに推進していただきたい。

問 林業の振興

答 国・県・林業事業体と連携し林業振興に取り組む

遠坂 道太 議員

質問の様子はこちら

議員 **林業従事者の確保、育成は。**

課長 令和5年度に森林環境譲与税を活用して、林業担い手対策事業に取り組んだ。4つの林業事業体に対して、チェーンソーや刈払機、空調服、ヘルメット、無線機など、作業に必要な道具や装具の整備に補助金として支援している。

熊本林業担い手確保育成プロジェクトの林業担い手支援事業が展開されている。林業従事者の作業機械や事業体への福利厚生に対する経費への支援、くまもと林業大学校を卒業した従事者の促進、国・県の林業DX事業の支援や施策にも頼る必要もある。今後どのような支援策が効果的なのか、県担当者や郡内の市町村担当者による情報交換の中で協議し、林業事業体の意見も聞いていく。

議員 **今後の林業振興についてどのように考えているのか。**

町長 森林環境譲与税など財源として、林業振興の施策も組み合わせ、効果的に展開していく。林業従事者の担い手の確保は、本町だけの施策で解決できる状況ではない。本町にとって効果的な対策になるよう、国や県、林業事業体と連携して、働き方や担い手の確保など、林業の振興に取り組んでいく。

問 河川整備

答 国・県と調整し効果的・効率的な整備を図る

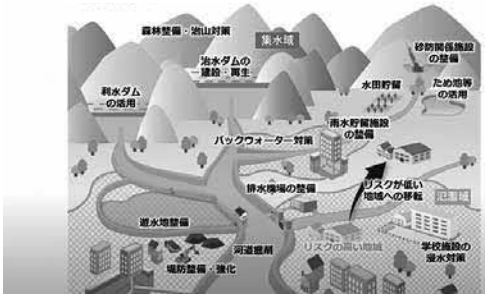
議員 **今後の河川整備について、どのように考えているのか。**

課長 土砂撤去状況は、蓑谷川、牧良川、大谷川の3河川で、令和5年度までに完了している。

町長 球磨川水系河川整備計画に基づき、効果的かつ効率的な河川整備を、国や県と調整を図っていく。

■流域全体を視野に入れた取組にあたって

■流域治水にイメージ



■計画対象期間及び計画対象区間

河川整備計画の計画対象期間は、概ね30年とします。

球磨川水系河川整備計画（国土交通省八代河川国道事務所）の動画はこちら

議員のつぶやき

林業の振興は、担い手を確保する環境づくりが必要。水害を防ぐには、予防的な河川整備が必要である。

議員派遣

研修資料や議員報告書は、議会図書室にありますので、住民の皆さまもご覧いただけます!

国道２１９号整備の要望活動

三市町村議会国道整備促進合同協議会

７月１６日(火)に熊本県と宮崎県への要望活動を行い、８月５日(月)から６日(火)にかけて国への要望活動を行いました。この活動は、西米良村、西都市、湯前町の３つの議会が毎年度実施しています。

■ 熊本県・宮崎県への要望活動と総会

	熊本県	宮崎県
要望先	県土木部　久原政策審議監 ・道路保全課　高橋課長 球磨地域振興局　大和土木部長	県知事　河野知事 県土整備部　桑畑部長 井上総括次長 松山技術次長 ・道路建設課　田中課長

熊本県要望では、湯前町上里工区の歩道整備の促進と予算確保に関する要望書を提出しました。また、松田県議と緒方県議から応援の挨拶をいただきました。

７月１６日の１６時３０分から、ホテルマリックスにて本協議会の総会が開かれました。令和５年度の事業経過報告と決算報告、令和６年度の事業計画(案)と収支予算(案)が審議され、全会一致で可決しました。

熊本県への要望活動

■ 国への要望活動

	福岡県	東京都
要望先	＜国道交通省九州地方整備局＞ 道路調査官　新保調査官 道路情報調査官　石橋調査官 地域道路調査官　麻生調査官	＜各県選出国会議員＞ 金子恭之　衆議院議員 馬場成志　参議院議員 松村祥史　参議院議員 ＜国土交通省道路局＞ 道路局長　山本局長、佐々木次長 関係審議官・関係担当課長

管内の要望書は、西米良村議会の濵砂委員長、西都市議会の荒川議長、湯前町議会の金子議長が、それぞれ説明を行いました。

人口減少禍における地域づくり

町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会

令和６年７月２３日(火)　湯前町役場応接室
講師　小田切 得美　氏　[明治大学農学部教授]
演題「人口減少問題への対応策」

＜主な研修内容＞
①人口減少問題の考え方
②地域づくりとは何か
③地域づくりの到達点

「にぎやかな過疎の町」

人口減少社会でも内発的な発展を遂げる地域を指し、地方創生のあるべき姿ともいわれています。

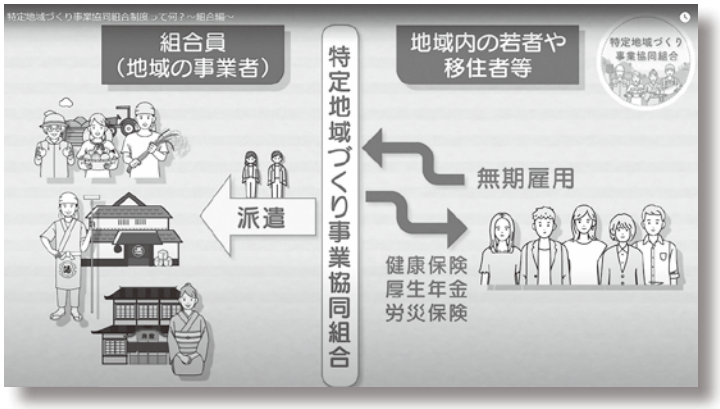
事例として、徳島県美波町(みなみちょう)が紹介されました。

美波町ＨＰ

「特定地域づくり事業共同組合」

地域の人口減少に対応するために設立された組織です。この制度は、地域の事業者が協力して組合を作り、移住者や地域の若者を雇用し、さまざまな仕事に派遣する仕組みです。詳しくは、YouTube総務省動画チャンネルをご覧ください。

組合編　制度編



最悪のケースを想定した危機管理

町村議会正副議長研修会

令和６年８月２７日(火)　湯前町役場議長室
講師　越野 修三　氏
[防災危機管理アドバイザー(元岩手県大学地域防災研究センター教授)]
演題「大災害からの教訓～熊本で備える～」

＜主な研修内容＞
①地震の危機対応(阪神大震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震など)
②大雨・洪水・土砂災害(令和２年７月豪雨、西日本豪雨など)
③大災害からの教訓
④危機管理における自治体の課題

企画経済建設常任委員会

8月19日・ 9月27日

委 員 長	遠坂 道太
副委員長	味岡　恭
委　　員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

次の所管事務を調査しました。

◎林道の災害復旧状況と木材の搬出状況

◎町内河川の現状

◎球磨畜産共進会

林道の災害復旧状況と森林の伐採計画

令和２年７月豪雨災害からの復旧道半ば

林道の災害復旧状況

林道	工区	復旧期間
夜狩内線	１号	Ｒ５年１月 ～ Ｒ６年１２月
宮の谷線	１号～３号	Ｒ５年１月 ～ Ｒ９年１２月
牧 良 線	1号～６号	Ｒ６年５月 ～ Ｒ１０年１月

森林の伐採計画

伐採年度	箇所数	面積	木の種類・樹齢・収穫量
Ｒ６年度	4	１２．２８ha	・スギ４０～８０年　５４２７㎥ ・ヒノキ４０～８０年　２０７３㎥
Ｒ７年度	3	１２．６１ha	・スギ４５～９８年　２４７１㎥ ・ヒノキ４５～９８年　２３８０㎥
Ｒ８年度	4	１８．５２ha	・スギ４０～８０年　１８３２㎥ ・ヒノキ４０～８０年　４２８２㎥

第７３回球磨畜産共進会

経営の持続が課題

第７３回球磨畜産共進会は、９月２７日に球磨家畜市場で開催されました。

畜産農家は、飼料価格などの生産コストの増加により、経営の持続が難しくなっており、人吉球磨管内の飼育頭数も減少しています。飼料価格の高止まりが続く限り、さらなる飼育頭数の減少や、畜産業の持続可能性への懸念があります。

湯前町からの出陳者と成績

育成種牛２部	本田 権六さん　ひかり３７５号	名誉賞７席
	石井　崇雄さん　かつひめ号	名誉賞６席
経産種牛４部	栗秋 和弘さん　みかん号	名誉賞首席(県共進会へ出場)
乾燥の部	栗秋 和弘さん　イタリアンライグラス	優秀賞

総務厚生文教常任委員会

8月19日・9月11日

委員長	西　靖邦
副委員長	吉田 精二
委　員	倉本 豊、黒木 龍次、椎葉 弘樹

次の所管事務を調査しました。

◎補助金等見直し方針の適用状況

◎町の災害対応

補助金の見直し方針
適用状況を調査

「補助金等の見直し方針（ガイドライン）」を策定する前は、補助期間の長期化による支援の既得権化や団体などの自立を阻害するなどの課題がありました。令和２年度にガイドラインを策定した後は、限られた財源の「選択と集中」を図り、補助金の公益性や行政負担の在り方、事業の成果など、補助金の適正化に取り組まれています。

目的	補助金の適正化を図るため、公益性や行政負担、事業成果を重視し、透明性の高い制度を策定。
現状と課題	補助金見直しにおいて、次の課題が指摘されている。 △団体の自立性阻害　……　補助金依存が団体の自立を妨げている。 △補助の長期化　……　終期が設定されず、目的が不明確。 △制度の周知不足　……　情報提供が不十分。 △透明性の欠如　……　補助の選定過程が不透明。 △公益性の確保不足　……　長期的な政策目標との整合性が不足。 △対象経費の不明確さ　…　補助対象経費や算定基準が不明確。 △補助率の適正化　……　補助率の統一ルールが必要。 △繰越金の発生　……　補助金を超える繰越金が発生。
補助金の定義と趣旨	補助金は、公益上の必要性に基づき、特定の事業を助長するために支出されるもので、団体の自立支援のための初期段階の措置。
運営費補助金の見直し	団体の自立を促進するため、運営費補助金から事業費補助金にシフトし、次の基準で見直しを実施。 ◎団体の自立性の確保 ◎補助金の適正な使途確認 ◎必要性の吟味と適正な補助額の設定 ◎適正な運用の継続
事業費補助の見直し	補助金全般について、次の基準で見直しを実施。 ◎上乗せ補助　…　国や県の補助額を超える補助は行わない。 ◎全額補助　……　自立可能性を検証し、必要に応じて減額・廃止。 ◎定額補助　……　目的達成後に検証し、減額または廃止。
終期の設定	補助金には終期を設定し、常に見直しを行い、町の財政健全化を図る。
予算編成時の対応	新たな事業費補助制度は、前年度の決算額を基準に総額の範囲内で調整を行う。

議長の窓

任期を振り返って

令和５年１月に倉本前議長の後を引き継いでから１年８カ月が経ち、任期満了を迎えようとしています。新型コロナの感染が収まりはじめ、見送られてきたことが少しずつ動き始めたころでした。多忙な中にも議員各位と協力しながら、職責を果たせるよう微力ながら尽力してきたところです。とりわけ、議員定数削減の要望を受けての議会改革調査特別委員会での議論や、その後の議会基本条例の制定に向けた議論を通じて、確実に「議会とは何か」「議員とは何か」を議会全体で再認識できたと思います。本町議会が更に発展し、充実することを願っています。

議員の任期満了にあたり、今回制定した湯前町議会基本条例を製本して議員各位にお渡ししました。今後の活動に役立てていただきたいと思います。

議会事務局の窓

主な議会スケジュール【９月２４日～１２月１９日】

活動内容	日程（予定）	対応者
議会全員協議会	９／２４　１０／２５	全議員
広報常任委員会	９／２４　１０／４	広報委員
全国町村議会広報研修会	９／２５～２６（東京都）	吉田、遠坂、森山
郡議長会	９／２７　１０／１０　１１／７	金子
子ども議会	１０／１	全議員
上球磨正副議長会 （西米良村・椎葉村　交流会）	１０／３（西米良村）	金子、椎葉
熊本県町村議会議員研修会	１０／９（オンライン）	全議員
臨時会	１０／２８　１１／２６	全議員
全国消防操法大会	１０／１１～１３（宮城県）	金子、西
本会議	１２／１３～１９　定例会	全議員

人吉球磨広域行政組合議会

新ごみ処理施設の先進地視察

環境にやさしいゴミ処理施設の新技術を学ぶため、９月２６日から２７日にかけて３カ所の新しい施設を視察しました。視察には、議員１８人と執行部３人が同行しました。人吉球磨クリーンプラザは、新ごみ処理施設の建設に向けて９年後の移転が確定しています。

視察先の施設	供用開始	所 在 地
指宿広域クリーンセンター	平成２９年度	鹿児島県指宿市
南部清掃工場	令和４年度	鹿児島県鹿児島市
エネクリーン北薩	令和３年度	鹿児島県出水市

エネクリーン北薩での研修受講

＜広域行政議員　椎葉・西＞

公立多良木病院企業団議会

令和５年度もプラス収支

４期連続の黒字経営

病院、介護老人保健施設、総合健診センターの３事業で、５億１３１万２２５１円の純利益でした。

病院事業	純利益４億７２８５万５８５０円
介護老人保健施設事業	純利益　１５１７万６７５４円
総合健診センター事業	純利益　１３２７万９６４７円

＜公立病院議員　倉本・遠坂＞

上球磨消防組合議会

人吉球磨消防指令センターの共同運用

来年４月から本格運用を開始

現在、人吉下球磨消防本部と上球磨消防本部は、両消防本部の消防指令システムを統合し、「人吉球磨消防指令センター」として共同運用を行う整備事業を進めています。

この指令センターは、上球磨消防本部に設置され、12月から試験的に運用を始め、来年４月から本格的に運用を開始する予定です。

＜上球磨消防議員　森山＞

第 52 回全国消防救助技術大会

出場３種目全て入賞

上球磨消防署チーム

詳細は、消防組合ＨＰをご覧ください。

選挙啓発

湯前町議会議員選挙の投開票日は１１月１７日

「三ない運動」の寄附行為は公職選挙法違反!!

※「三ない運動」の詳細は、議会だよりNo.４０号(令和４年１１月１５日発行)をご覧ください。

総務省・㈶明るい選挙推進協会

(注)「住民の声」はお休みします。

『議員・風刺や時代を読む』　漫画作品と議会のコラボ企画

『下町橋』　那須 良輔　氏

この企画は、湯前町が取り組むマンガのまちづくりを、議会も積極的に応援する取り組みです。風刺漫画や時代を描写した風景画は、地方議会と密接に関わっており、政治の問題や社会の動きを批評的かつ啓発的に表現する重要な手法です。

▶下町橋は、明治３９年(１９０６年)１１月２０日に架け替えられ、石橋の眼鏡橋となりました。

▶当時の費用は２７０円と記録されています。石工は、八代方面から種山石工の流れをくむ人たちが来たと言われています。

▶令和２年７月豪雨災害で被害を受けた下町橋は、その後に改修工事が行われ、令和６年７月２９日に全面開通となりました。湯前町の観光の礎になることを期待します。

(遠坂)

■発　行／湯前町議会・広報常任委員会
■発行日／令和6年11月1日
■印　刷／(有) ソーゴーグラフィックス

UD FONT
ユニバーサルデザインフォントを使用しております。

◆広報常任委員会

私たちが編集しました。

委員長　森山　宏
副委員長　西　靖邦
委員　椎葉　弘樹
遠坂　道太
吉田　精二

湯前町議会　検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。